

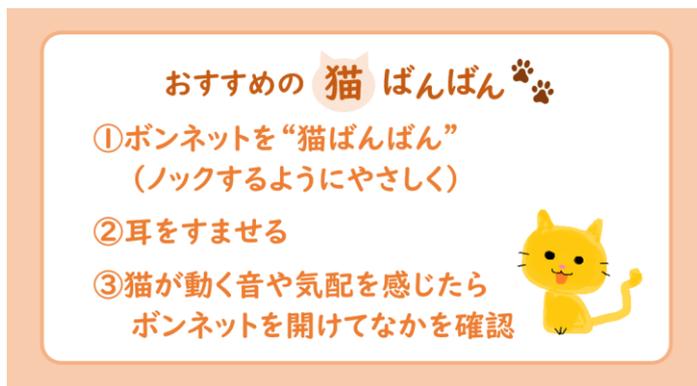
猫がクルマに入り込んでしまったトラブル1カ月で24件！

1年通して発生するトラブル、暖かくなっても引き続きご注意を！

JAF（一般社団法人日本自動車連盟 会長 坂口正芳）は猫の日（2月22日）の前日である2月21日（水）に、2023年12月1日（金）～31日（日）にかけて発生した“猫がクルマに入り込んだことによるトラブル”の救援要請件数を発表いたしました。

■“エンジンルームに猫”1カ月で24件！雨の日は音が聞こえづらいので要注意

12月1日（金）～12月31日（日）の1カ月間でドライバーから「エンジンルームに猫が入り込んでしまった」と救援要請いただいた件数は全国で24件ありました。現地の天気が晴れであった場合は半数以上がエンジン始動前に気づいて救援要請をされていたのに対し、天気が降雨もしくは降雨後であった場合は約2/3はエンジン始動後。雨の日は猫が動く音や気配に気づきにくいいため、晴れの日よりも注意が必要です。



2021年にJAF公式SNSで投稿したおすすめの「猫ばんばん」
ボンネットを叩くだけでなく、反応した音がしないか耳をすませましょう。

■猫に気づかずエンジンを始動してしまうと…

エンジン始動後に気づき救援要請されると明確にわかるものは13件ありました。

猫が入り込んでいることに気づかずエンジンをかけてしまうとベルト類に巻き込まれる場合があります。ベルトに巻き込まれてしまうとそのベルトが千切れてしまったり、千切れなくとも洗浄が必要になる可能性があります。猫の命を守るためにも、乗車の前はボンネットなどエンジンルーム付近をやさしく叩くことを実践しましょう。

なお、ボンネットを叩くいわゆる“猫ばんばん”は有効ですが、万能ではありません。叩いて出てくるかは個猫差があります。叩いたあと猫の声や気配を感じたらボンネットを開け、中まで確認してください。

- ・クルマ何でも質問箱「猫がエンジンルームに入ることを知っていますか？」

<https://jaf.or.jp/common/kuruma-qa/category-trouble/subcategory-prevention/faq256>

■入り込む理由は“暖かいから”だけじゃない！子猫が生まれる季節はさらに要注意！！

寒い冬に暖かい場所を求めてエンジンルームに入り込むと思われがちですが、JAFには1年を通して猫がクルマに入り込むトラブルの救援要請があります。昨年6月に実施した同調査では、本調査の約14倍の要請がありました。6月はちょうど春生まれの子猫が活発に動き始める時期であり小さな体ですきまに入り込みやすいので、暖かくなっても注意が必要です。

- ・JAFに要請のあったトラブル件数は6月に343件！（2023年09月11日配信）

<https://jaf.or.jp/common/news/2023/20230911-001>

一般社団法人 日本自動車連盟 広報課

Tel : 03(3578)4920 Fax : 03(3578)4912 Mail : koho@o3.jaf.or.jp URL : <https://jaf.or.jp/>
〒105-0012 東京都港区芝大門1-1-30 日本自動車会館